

Luma40 究極 of 究極 最適化レイアウト & PowerToys 連携ガイド

Luma40究極の最適化レイアウト&PowerToys連携ガイド（改訂版） 2025-12-29

レイアウト・コンセプト：『3大親指エンジン』

- 親指への全権委任:** レイヤー切り替え・Space・Enter・言語変更を親指に集中させ、小指や手首の負担を激減させます。
- 左手のテンキー化:** L1キー（中央親指）押下で、左手がテンキー配置になります。
- Vimライクな移動:** L2キー（左親指）により、ASDW周辺がカーソルキーとして機能します。
- 記号の「対」配置:** [と]、(と)など、対になる記号を隣接させることで、ブラインドタッチのミスを構造的に防ぎます。

親指の役割（レイヤー切り替え）

- 左親指 (K5):** 長押しで **【L2: 移動・Fキー】** / 単押しで **言語切り替え (F13)**
- 中央親指 (K6/2u):** 長押しで **【L1: 数字・記号】** / 単押しで **Space**
- 右親指 (K8):** 長押しで **【L3: システム・PrtSc】** / 単押しで **Enter**

各レイヤーの構成

※最下段のK6/K7のみが2uキーで専有されています。

レイヤー0: Base (基本文字入力)

Row	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12
上段	Tab	Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	BS
中段	Esc	A	S	D	F	G	H	J	K	L	;	'
下段	Shift	Z	X	C	V	B	N	M	,	.	/	Shift
最下段	Ctrl	Win	Alt	(空)	L2/F13	L1/Space	(2u専有)	L3/Enter	Alt	Ctrl	-/_	(空)

レイヤー1: Logic (数字・テンキー・記号)

Row	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12
上段	,	7	8	9	+	[]	!	@	#	\$	Del
中段	(Tab)	4	5	6	-	()	%	^	&	*	=
下段	(Sft)	1	2	3	.	{	}	<	>	?	\	(Sft)
最下段	(Ctl)	0	,	(空)	(空)	(L1持続)	(2u専有)	(Alt)	(空)	(空)	-	(空)

レイヤー2: Navigation (移動・Fキー・CapsLock)

Row	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12
上段	Ins	Home	Up	End	PgUp	(空)	(空)	F7	F8	F9	F10	(空)
中段	Caps	Left	Down	Right	PgDn	(空)	(空)	F4	F5	F6	F11	(空)
下段	(空)	(空)	(空)	(空)	(空)	(空)	(空)	F1	F2	F3	F12	(空)
最下段	(空)	(空)	(空)	(空)	(L2持続)	(空)	(2u専有)	(空)	(空)	(空)	(空)	(空)

※ K1中段にCapsLockを配置。左親指ホールドとの組み合わせにより、ホームポジションを維持したままトグル操作が可能。

レイヤー3: System (システム・メディア・接続切替)

Row	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12
上段	(空)	RGB Tog	Bri +	Sat +	Hue +	Reset	(空)	Vol Up	Alt	Win	PrtSc	(空)
中段	(空)	Mode +	Bri -	Sat -	Hue -	(空)	(空)	Vol Dn	Mute	BT 1	BT 2	BT 3
下段	(空)	Mode -	(空)	(空)	(空)	(空)	Prev	Play	Next	USB	2.4G	(空)
最下段	(空)	(空)	(空)	(空)	(空)	(空)	(2u専有)	(L3持続)	(空)	(空)	(空)	(空)

VIA & PowerToys 設定手順

1. VIAへの書き込み (Anyキー設定)

VIAの「SPECIAL」タブにある「Any」キーに以下のコードを正確に入力してください。

- **K5 (左親指):** LT(2, KC_F13)
- **K6 (中央2u):** LT(1, KC_SPC)
- **K8 (右親指):** LT(3, KC_ENT)
- **K11 (レイヤー0):** KC_MINS (Shift入力で _)
- **K1 (レイヤー2・中段):** KC_CAPS

2. PowerToys (Keyboard Manager) の設定

1. **Keyboard Manager** を起動し、「キーの再マップ」を選択。
2. **物理キー:** F13 を指定。
3. **マップ先:** Alt (Left) + IME Kanji を指定。

3. メリット

- **ホームポジションの維持:** 全ての移動、数字、システム操作をホームポジションから指を離さず行えます。
 - **物理整合性:** 最下段のみ2u、他は独立したキーとして機能させることで、キー数を最大限に活用しています。
 - **確実な日本語切り替え:** F13を経由したPowerToys連携により、OSの入力モードを問わず一発でIMEの切り替えが可能です。
 - **CapsLockの最適化:** 誤爆リスクの高いCapsLockをレイヤー2に配備。テキスト選択や編集作業の流れでスムーズに起動できます。
-

3 / 3 ページ